



## 寺中

「わがまち散歩」のタイトルデザインを一新し、今回は寺中地区をぶらり。また後半では、新企画の「幸せごはん～わが家の台所から～」も始めました。乞うご期待。



由緒ある津森神宮。奥の拝殿の修復工事が進んでいます



津森神宮の拝殿修復工事に汗を流す皆さん。左から藤山さんと西嶋さん親子

## 「お宮さん」に感謝を込めて

この季節、小さな体に大きなランドセルを背負った新1年生の姿を見つけると、思わず目尻が下がります。さて、今回の散歩の目的地は寺中地区。文字通りに読めば「じちゅう」ですが、地元では「じっちゅう」と「つ」が入ります。

地区のシンボリックな場所が津森神宮。熊本地震で拝殿が被災しましたが、現在修復工事が進み今年7月に落成を迎える予定です。修復作業に携わっているのが寺中地区で

建設業を営む藤山高弘さんと、西嶋工務店（福原地区）の西嶋武さんと大輔さん親子です。「幼い頃から親しんだお宮さんの修復に携われて、大工冥利につきます」と藤山さん。「大切な文化財なので、作業は慎重に行っています」と話す西嶋さん親子は、木山神宮の修復工事も手掛けました。

津森神宮近くに住む西山裕美さんは毎朝、愛犬のラテ（雌7歳）を連れて参道を掃くのが日課だそうです。西山さんお手製のほうきは、一般のもの比べると柄が長いのが特徴。「このほうきを左右に振ると、参道の両脇まで一気に掃くことができ

ます」と西山さん。午後からの楽しみは韓流ドラマの観賞。「字幕が2行になると読むのが間に合わんで、次のシーンに追いつけん」と笑う西山さんの「字幕あるある」に思わずうなずきます。

## 元気教室で大集合

「寺中地藏堂」横の公民館に、地区の人たちがワイワイと集まってきました。毎週火曜日の午前中、ここで「ましき元気教室」が行われています。参加者はDVDの指導に従いたっぷりと1時間ほど体を動かした



愛犬のラテを連れて毎朝、津森神宮の参道を掃除している西山さん

がら、「みんなと顔を合わせるのが楽しみ」と口をそろえます。

「こうした集まりで、高齢の方々が元気であらうしやるのを確認でき安心します」と話すのは、参加者の間で「若手」と呼ばれている小田美津子さ